

ウイナーズ読売カップ 優勝はSCHFC(横浜市)、足柄FC(小田原市)

12月1日、横浜・川崎・湘南・県央・県西の各地区から勝ち上がった少年サッカーの代表チームが対戦する「第24回ウイナーズ・読売カップ」(主催/同実行委員会、読売新聞東京本社)が二宮町の町民運動場で行われ、小学校高学年・低学年それぞれ6チームが熱戦を繰り広げた。

高学年の部は横浜代表のSCHFC、低学年の部は県西地区代表の足柄FCが、それぞれ初優勝を勝ち取った。



毎日をステキに♪
vol.51
縁起の力~

あけましておめでとうございます。新年を迎えて、初夢やおみくじで今年の運勢を占い、年頭の誓いをたて、お正月を過ごされた方もいらっしゃるかと思います。

初夢で縁起が良いとされる「一富士、二鷹、三茄子」があります。高くて美しい富士山は、目標や理想を叶える事を象徴し裾広がりで縁起が良いとされます。鷹は、高く強く羽ばたき大空を舞うので開運に繋がり、茄子は財を成すなど、事を「成す」ことに通じて縁起が良いとされます。そして「四扇、五煙草、六座頭」と続きます。四の扇の形が未広が

り、五の煙草は煙が上がるよう運が上がり、六の座頭は「毛がない=怪我ない」を意味します。

他にも多々ありますが見た夢をいい縁起に繋げてみませんか?「縁起が良い・悪い」とは因果関係を指します。簡単にいうと「良い」と思えば良い、「悪い」と思えば悪いということです。事実は一つですが、見方は沢山あります。原因をさまざまな角度で良い方に繋げて見るようしましょう。すると、すべて縁起が良かったとなります。自分の「心の力」を信じていきましょう。

今年も宜しくお願いします。

心理カウンセラー 但野 真実子

株式会社こころ 代表取締役
(横浜市西区平沼1-33-1 新横浜ビル5階)
☎045-548-4156

インターネット放送局「わいわいテレビ」出演



協議がまとならなかった場合、相続財産を分割するために、この不動産を売却・現金化する必要性が生じます。つまり、建物を所有していた子供は、自宅を失い、引っ越しを余儀なくされることになります。

こうした悲劇を招来しないためにも、土地を所有する親が、「建物を所有している子供が、その底地を相続する。」という内容にて、遺言書を作成しておくべきです。

具体的な事情は、個々のケースで異なりますので、弁護士や司法書士といった法律の専門家に、相続の相談をすると良いでしょう。

テレビ東京「ガイアの夜明け」で特集
司法書士 長津田総合法務事務所
司法書士 高橋 欣也

横浜市緑区長津田5-1-12
☎0120-52-8349(9時~20時)



Yokohama Professional Sports Teams



横浜市のプロスポーツチームを応援しよう!



[横浜ビー・コルセアーズ]
Bリーグ

(横浜国際プール)
●1/5(土)18:05~、6(日)14:05~
VS 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
●1/23(水)19:05~ VS 川崎ブレイブサンダース
●1/30(水)19:05~ VS シーホース三河
(トッケイセキュリティ平塚総合体育館)
●2/1(金)19:05~、2(土)14:05~
VS 三遠ネオフェニックス

ともにつくる vol.52

共創横濱

横浜市立東高等学校

横浜メディアビジネス総合研究所

横浜市では企業、NPO、自治会町内会など皆さまとの対話を重ね、新たな価値を創り出す「共創」の取り組みを行っています。

■☎045(671)3995共創推進課
www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/

ステージ
SDGsを学ぶ、次世代を担う高校生たち

横浜市は2018年、「SDGs未来都市」に内閣府より選定された。SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、2015年に国連サミットで採択された2030年までに達成を目指す17の目標のこと。地球を守り、全ての人が平和と豊かさを享受するための具体的な指標を定めている。

ユネスコスクールの認定校、鶴見区の市立東高等学校は、世界の課題を身近な問題として理解し、考え、行動できるよう、さまざまな取り組みを実践している。その一環として、市と横浜メディアビジネス総合研究所(横浜SDGs推進協議会)と連携し、昨年12月にSDGsの学びを深めるワークショップを開催。17の企業や団体が、1・2年生約550名を対象に、問題解決の視点やヒントとなる独自のプレゼンテーションを行った。

熱心にメモを取る生徒の姿も見られ、小



一般社団法人未来技術推進協会のワークショップの一コマ。「SDGsのよりよい理解のためのボードゲーム」を体験する生徒たち

間物晃弘校長は「今は、芽をだすための水やりの段階。時間がかかる目標だからこそ、早くから学ぶ機会を与え、積み重ねていくことが重要。生徒たちが30歳前後となる2030年には、時代を変える中核となつてほしい」と語る。さらに「今後も大学や地域や企業と連携を図り、SDGsの課題探求を深化させていく。幅広い知識を習得し、キャリア形成にもつながれば」と次を見据える。

今回、高校生たちに芽生えた小さな気づきは、やがて大きなイノベーションを生み出す原動力となっていくに違いない。

新春を迎えた横浜港に、日本船籍のクルーズ客船、ぱしふいいくびいなす(26,594総トン、全長183.4メートル、乗客数620名)が寄港する。初めて乗船しても、安らげる雰囲気のフレンドリーなサービスが特徴で、「洋上の我が家」とも称される。

主な客船の入港予定

1/6(日)~7(月)・24(木)~26(土)・27(日)~28(月)飛鳥II

1/7(月)~12(土)~14(月)~15(火)~27(日)~28(月)にっぽん丸

※横浜大さん橋国際客船ターミナル着岸予定

※入港予定は事情により変更となる場合あり



入港予定、セレモニーに関する問合せ 横浜市港湾局客船事業推進課 ☎045(671)7272

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan>

ヨコよみ みんなのおたより

中村橋之助さんの記事を読んで。「劇場と街は一緒に潤っていかなければいけない」とは、とてもいい言葉ですね。とても印象に残りました。

瀬谷区 K.S(57歳)

私はひそかに『ぶらりBar飯探訪』のファンです。中が見えない扉の向こうにある景色にワクワクドキドキ♡そろそろ大人真っ盛りなのでレビューしてみつか!!とコレを読みながら勉強中です。

鶴見区 T.T(50歳)

横浜の歴史は毎号一番に読んでいます。子どもも学校で勉強しているので、親子で語らうことができて、加えてとても理解しやすいです。次号も楽しみにしています! 青葉区 Y.Y(45歳)

※ヨコハマよみうり編集部では、皆さまからいただいたおたよりすべてに目を通し、紙面づくりに生かしております

※ペットでも、風景でも…おもしろ写真大募集! info@shonan-yomiuri.co.jpまで ※掲載された方に粗品をプレゼント!

平成最後のナントカ…ってこの頃よく聞きます。私にとってこの30年は何だったのだろう…クイーンの映画を見て、この30年間は吹っ飛んでしまいました。またコンサート行こうっと♥ 旭区 C.K(60歳)

シェアバッグで持ち帰り、食品ロス削減! 年間646トンを廃棄していると知り、家庭でも食品ロスを減らすことを心掛けたいと思いました。磯子区 H.M(62歳)

新元号は画数が少なく、易しいおだやかな感じがいいと思います。 中区 K.I(71歳)

言葉を考えるのは難しい! 皆が納得できる元号になるといいですね。 横浜市 M.S(69歳)

12月号アンケート「新元号を予想!」の結果は8面に掲載しています。次回のお題は「わが家のお気に入りの鍋料理」教えてくださいね。

※字幕のトランジングは、盛付イメージです。

※支度のトランジングは、盛付イメージです。

※支度のトランジングは、盛付イメージです。